

ジヒドロコデインリン酸塩散 10%「第一三共」

【この薬は？】

販売名	ジヒドロコデインリン酸塩散10%「第一三共」 DIHYDROCODEINE PHOSPHATE POWDER 10% “DAIICHI SANKYO”
一般名	ジヒドロコデインリン酸塩 Dihydrocodeine Phosphate
含有量 (1g 中)	ジヒドロコデインリン酸塩（日局）100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、鎮咳剤、鎮痛剤、止瀉剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、咳中枢に作用して、咳を鎮めます。痛みを伝える神経組織や痛みの中枢に働きかけ、痛みをやわらげます。また腸管運動の抑制などの作用により、下痢症状を改善します。
- ・次の目的で処方されます。
各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静
疼痛時における鎮痛
激しい下痢症状の改善
- ・この薬は、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重篤な呼吸抑制のある人
- ・12歳未満の小児
- ・扁桃摘除術後またはアデノイド切除術後の鎮痛目的で使用する18歳未満の人
- ・気管支喘息の発作をおこしている人
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・慢性肺疾患に続発する心不全の人
- ・けいれん状態（てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒）にある人
- ・急性アルコール中毒の人
- ・アヘンアルカロイド（モルヒネ、オキシコドン、コデインなど）に対する過敏症の人
- ・出血性大腸炎の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・細菌性下痢のある人
- ・18歳未満の肥満、閉塞性睡眠時無呼吸症候群または肺に重篤な障害のある人
- ・心臓に障害のある人
- ・呼吸機能障害のある人
- ・脳に器質的な障害のある人
- ・ショック状態にある人
- ・代謝性アシドーシス（重篤な代謝の異常により、血液が酸性に傾くこと）のある人
- ・甲状腺機能低下症（粘液水腫など）の人
- ・副腎皮質機能低下症（アジソン病など）の人
- ・過去に薬物依存のあった人
- ・衰弱している人
- ・前立腺肥大による排尿障害、尿道狭窄（にょうどうきょうさく：尿道が狭くなって、尿が通りにくくなった状態）のある人、または尿路手術後の人
- ・器質的幽門狭窄（きしつてきゅうもんきょうさく：胃の出口が狭くなって、食べたものが通りにくくなった状態）、麻痺性イレウス（腸の動きが鈍くなり、排便が困難になった状態）のある人、または最近消化管手術を行った人
- ・過去にけいれんをおこしたことがある人
- ・胆のうに障害のある人、胆石のある人
- ・重篤な炎症性腸疾患のある人
- ・腎臓に障害がある人
- ・肝臓に障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ジヒドロコデインリン酸塩散 10%「第一三共」
1 回量	0.1g (ジヒドロコデインリン酸塩として 10mg)
飲む回数	1 日 3 回

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。飲み忘れた場合は、気がついた時点で 1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に 1 回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

呼吸抑制（呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる）、意識不明、けいれん（顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える）、錯乱（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない）、血圧低下（脱力感、立ちくらみ、めまい、ふらつき、意識の消失）、重篤な脱力感、重篤なめまい、嗜眠（刺激がないと眠ってしまう）、心拍数の減少、神経過敏、不安、縮瞳（物の形が見えにくい）、皮膚冷感などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

過量使用の治療薬として拮抗剤（ナロキソン、レバロルファンなど）があります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を続けて飲んでしていると、薬をたくさん飲みたいとか、薬がないといられない気持ちになるなど薬物依存の症状があらわれる可能性があります。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで、あくび、くしゃみ、涙が流れる、発汗、悪心（吐き気）、嘔吐（おうと）、下痢、腹痛、散瞳（まぶしい、物が見えにくい）、頭痛、不眠、不安、せん妄（軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想）、手足の震え、全身の筋肉・関節痛、息苦しいなどの退薬症候があらわれる可能性があります。そのため、この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。
- ・眠くなったり、めまいがおこったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・アルコールを含む飲食物はこの薬の作用を強めることがありますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、手足のふるえ、発汗、不眠、幻覚
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
せん妄 せんもう	軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
無気肺 むきはい	手足の指先が青紫色になる、唇が青紫色になる、息苦しい
気管支痙攣 きかんしけいれん	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
喉頭浮腫 こうとうふしゅ	声が出にくい、喉がつまる感じ、息苦しい、息をするときヒューヒューと音がする
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る
中毒性巨大結腸 ちゅうどくせいきょだいけつちょう	発熱、お腹が張る、激しい腹痛、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、発汗
頭部	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、不眠、幻覚、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想
口や喉	唇が青紫色になる、吐き気、嘔吐、声が出にくい、喉がつまる感じ、息をするときヒューヒューと音がする
胸部	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる、息苦しい、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
腹部	お腹が張る、激しい腹痛
手・足	手足のふるえ、手足の指先が青紫色になる
便	下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、便やおならが出にくい

【この薬の形は？】

販売名	ジヒドロコデインリン酸塩散10%「第一三共」
性状	散剤
色	白色～帯黄白色

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ジヒドロコデインリン酸塩散10%「第一三共」
有効成分	ジヒドロコデインリン酸塩（日局）
添加剤	乳糖水和物

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・この薬を他人に渡すことは、法律で禁じられています。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一三共株式会社（<https://www.daiichisankyo.co.jp>）

製品情報センター

電話：0120-066-132（がん・医療用麻薬専用）

受付時間：9:00～17:30

（土、日、祝日、当社休日を除く）